



茶寮湖東 CafeKohigashi

〒391-0211 茅野市湖東上管沢8651-13/TEL:0266-72-0722/http://ameblo.jp/cafekohigashi/

新しい食事処を開拓しようとネットで調べていたら、気になるお店を発見！クリームあんみつに惹かれ、今回お邪魔したのは2013年オープン「茶寮湖東(さりようこひがし)」さん。木のぬくもりが感じられる店内は落ち着いた雰囲気です。食事メニューは全3種。和食中心の家庭料理がコンセプトの松花堂弁当(¥1,100)を注文。内容は週替わりで今週はぶりのごぼう照り焼き、柚子の皮が入った和風コールスローサラダ、玉子焼き、ねぎの味噌汁、ご飯、寒天のきなこ黒みつがけ。どれもやさしい味付けで身体にしみこむ美味しさです。また、お客様のリクエストから生まれた(昨年提供したカレーライスが好評だったそう!)「あっさりカレーうどん」と梅干し、かき玉子、岩海苔、きざみねぎが入った「ふんわり梅とじうどん」も人気とのこと。そして気になっていたクリームあんみつ(¥700)は苺・バナナ・キウイなどフルーツがゴロゴロ入っていて、角寒天と黒蜜に絡めて食べると美味！あんこ、寒天、黒蜜をお店で手作りしているそうです。レジ横には毎朝その日の分だけ手作りしている無添加の和菓子も並んでいます。季節毎に3~4種類あり、テイクアウトOK！もちろん飲み物と店内で楽しむことも出来ます。食事も美味しい甘味処でゆったりとした時間を過ごしませんか♪

New! 私に言わせて-!!

黒くてよくわからない画像になってしまいましたが、これはビーフジャーキーならぬホースジャーキーなのです。(注意：わんちゃん用ではありません！) お得意様から何気なくいただいた一切れが馬肉だと知らずに食べてしまったのですが…はい、私、食べず嫌いだったようです(苦笑) ググってみるとホースジャーキーにもいくつかあるようですが、こちらは粒胡椒がほどよくきいていて、薄くて食べやすく、噛めば噛むほどにうま味が出てきます。むしろいつものビーフジャーキーより好きになってしまいました！ 気になる方は「馬子板(まごいた)ジャーキー」でググってみてください。茅野市本町にあるお肉屋さんでは400円位で売っています。(文：遠藤)



Column

山のトムさん *written by* 藤田廣己

【不確実性時代】日本ハムの逆転優勝など今年も様々なサプライズ現象が見られた。なかんずく驚かされたのは英国国民投票でEU離脱となったことと米大統領選のトランプ勝利である。特に後者はなにか不安を抱かせる。モノ言わぬ(モノ言わぬものと扱われメディアには無視されて来た)白人貧困層の既成政治に対する不満や閉塞感が新風に期待する形で顕在化したと評されるが、それら大衆のひそやかな期待もいずれ裏切られるのでは？ なぜならば、彼は不動産王といわれる超金持ちであり、貧困層に心を寄せるなどとは、あるとすればポーズであり偽善でありいずれ矛盾が破綻するであろうからである。自身も移民の子孫のくせに移民や異教徒を排除規制する主張も自己矛盾になる。米国は善くも悪くも世界の枢要国として安定してもらわねば困るのだが、トランプの動静次第では米国内が不安定になり、ひいては前世紀以来のバックス・アメリカナ(アメリカ中心の世界平和体制)が崩れ、その間隙を狙って“天帝”意識の習金平がバックス・シノワ(中華世界つまり中国中心の世界秩序)推進に拍車をかけ四囲と軋轢摩擦を生じさせる恐れがある。その時日本はどうなるか？ ガルブレイスが不確実性時代を予見した1970年代から半世紀近く経つ。元来歴史とは不確実の連続なのかもしれないがいよいよ本格化の予感がする。編笠山麓の畑で鎌をふるう手を休めて甲斐駒や入笠山の稜線を眺めるとき、ついつい、その向こう遙か彼方の世界とこの地を結び付けつつ行く末を様々思い巡らされてしまうのである。来る年の平穏を祈らずにはいられない。皆さまのご多幸を！

■本誌のバックナンバーは当社HP (<http://www.stove-house.co.jp>) よりカラーにてお楽しみいただけます。

STAFF ANSWER ABOUT THE TITLE

Lamp Lighter (本誌) 休刊について

K.N: ランプライターはストーブハウスの歴史そのものです。温故知新ゆえ新たな領域へいざ！

Y.M: 歴史のある季刊誌でしたが、紙媒体からSNSなどの反応のわかるものにシフトして、よりリアルタイムに情報交換をしたいと思います。

A.E: 発刊後、感想や質問、商品の問い合わせなどを頂くことが励みになっていました。今まで支えてくださった皆様、そして愛読して下さった皆様、ありがとうございました。

R.I: 発刊に携わる様になって今号で7回目。季刊誌の商品を見てご来店される方もいらっちゃって、やりがいのあるものでした！

S.A: 普段は読み手側ですが、本誌を通して、初めて自分で原稿をつくる事の大変さを実感し、とても勉強になりました。

M.N: 表紙の四季折々の温かみのあるイラストがとても好きでした。協力していただいた方々に感謝です。

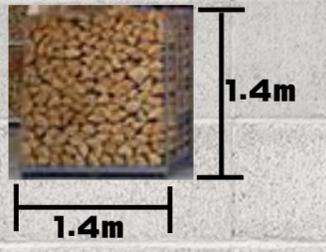
K.Y: 創刊時の事を思い返すと、こんなに長く続くとは思っていませんでした。ランプライターを長い間愛読していただいたみなさまに、ありがとうございました。


 発送元 ストーブハウス原村店
 〒391-0104
 長野県諏訪郡原村5252-1
 TEL:0266-79-6378 / FAX:0266-79-6375



☆原村店限定 STOVE HOUSE 福袋 2016年12月23日(金)10時より 販売スタート！
 毎年ご好評をいただいておりますSTOVE HOUSEの福袋、一足早く年内から3種類販売決定!!
 詳しくは本紙中頁「STOVE HOUSE 福袋 ネット」を是非ご覧ください。

☆原村店限定 限定数10 ナラ薪(タガ無/大割/L45cm) 2立米分 まとめ買い特価販売 ご予約受付中！
 オーナーズカード会員価格45,000円(税込) ※一般のお客様は50,000円(税込)
 大割のナラ薪2立米分(110束タガ相当・1.1t)がなんとこの価格！**限定数10**ですので、お早目にご予約ください。今年は冬が来るのが早く、薪の残量を心配されているオーナー様、極上の乾燥薪はいかがですか？ご予約はストーブハウス原村店0266-79-6378までお願いします。お名前とご連絡先、希望の引取りスケジュールをお知らせください。(ラックは付属しません/配達不可)



■年末年始の営業日並びに2017年定休日変更について
 【原村店】営業時間：10-18時
 年内…火曜日定休、12/31(土)まで営業いたします
 年始…1/4(水)より営業スタート、日曜と月曜が定休日となります※月曜が祝祭日の場合は月、火休みに変更
 【蓼科店】営業時間：10-17時
 年内…水曜日、木曜日定休、12/31(土)まで営業いたします
 年始…1/4(水)より営業スタート、1月と3月は特定日のみ営業、2/1(水)~2/28日(火)は冬季完全休業

■雑貨メンバーズカード(ポイントカード)サービス終了のお知らせ
 長年ご愛顧頂いておりました「ZAKKA Member's Card(ポイントカード)」サービスを下記の通り、2017年3月31日をもって終了させて頂くこととなりました。誠に勝手ではございますが、ご了承くださいますようお願い申し上げます。ご質問、ご不明点等ございましたら、当社スタッフまでお尋ねください。
 ●カードの新規発行並びにポイント付与⇒2017年3月31日(金)終了
 ●ポイントが貯まったカードのご使用⇒2017年9月30日(土)終了



■本誌「Lamp Lighter」休刊のお知らせ
 本号(Vol.72)を持ちまして、本誌は一旦休刊となります。再刊の予定は未定となっております、また伝えたい情報が集まりましたら再刊させていただきたいと思っております。ご愛読ありがとうございました。

薪ストーブ通信

薪ストーブは やっぱり最高だ!! — その魅力を再確認 —

数ある耐久消費財の中でも耐用年数が長いものの、その使用方法において燃料である薪の質や太さ、乾燥具合などは、薪をくべるタイミングやちょっとしたコツ等…、マニュアルや数値として計りえない、まさに経験と感覚で使用する現代人が苦手としがちなアナログ色が濃い商品の薪ストーブですが、「それでも人を惹きつける魅力が薪ストーブにはある！」と断言できる薪ストーブの魅力を再確認したいと思います。

燃料の面でいえば、一個人が自力で調達することのできる持続的な資源としての薪は枯渇が迫っている石油燃料に比べると優位になるところはありますが、やはり何といても薪ストーブの最大の魅力といえばその「暖かさ」に尽きます。薪ストーブを使っている人にしか味わうことのできない家族を優しく包み込む心地よい暖かさは他の暖房器具でもなかなか成しえませんが、

ストーブ全体から発せられるやわらかな遠赤外線の放射熱はまさに母なる太陽が我々に浴びせる自然の暖かさそのもので、日本人的な表現でいえば縁側で日向ぼっこをしているうちにウトウトしてしまう感覚に似ているのでしょうか。

そして白い息を吐きながらも汗だくなるほど凍え知らずの薪割り作業、芽吹く頃には積まれた薪にニンマリし、今か今かと思いつつも、積まれた薪棚を見て、「まだ早いかな」とそわそわし始める晩秋…というように薪ストーブを中心にして四季を肌で感じるライフサイクルは人間らしく生きていることや自然への感謝を感じさせるものであり、モノ社会、情報化社会のなかで目まぐるしく変化するなかで生きる現代人が忘れかけている大切な何かを気づかせてくれます。言葉では何とも表現できない焚きつけた時に薫る匂い、どこか懐かしさを感じさせる薪のバチバチとはぜる音…、初めて火を入れるその瞬間に何ともいえない感慨深さを思わせる薪ストーブは、単なる暖房器具の域を超えた、まさに五感をフル活用することのできるHEARTH SYSTEMなのです。われら薪焚き人よ!! さあストーブシーズンの到来だ。



「コ」がポイント!

STOVEMANのワンポイントアドバイス

薪ストーブに必要な焚き付け。着火剤等の最初の火種からいきなり太い薪には火はうつりません。燻ってしまい、ドアを開けたりして強引に火を熾すと熱がストーブの一部分に集まり、ストーブ本体を傷めてしまいます。また冷えた空気を入れてしまうので逆効果です。焚き付けは乾いた枝木や指の太さ位のものを20〜30本くらい使いましょう。一日の薪の量もその方が少なくてもちます。



焚き火は嬉しい。しかも部屋の中でなんて、何と贅沢な事でしょう。30代前半で横浜から八ヶ岳南麓清里に引っ越して来て35年になります。生業は、スタンドグラス(ガラスに絵付け)作家です。

田舎暮らしを始めた当初から、暖房は薪ストーブです。初めは敷地内に立っていたカラマツ等を燃やしていましたが、その後、知人・友人等をつてに段々薪が手に入るようにはなってきました。昨年導入した鉄製製のストーブになるまでは、地元の金物屋さんで手に入る鉄板製を5台ほど使い続けました。安価で直に温かくなってくれるのでとても気に入っていたのですが、何せ大食漢! 煙突も直径10センチのもので横引きがあたりして、一冬に10回は煙突掃除をしなければならない事もあつたりして、将来的にこのままでは大変すぎると判断致しました。

我が家は、鉄板製のストーブ時代からストーブを囲んで暖をとる、廻りにテーブルがある洋風囲炉裏的な使い方をしていて、そのスタイルを崩したくなかったので機種を選択肢があまり多くありませんでした。15畳程の部屋を暖めるのにさほど大きい必要は無く、選んだ機種はモルソー社の2B(シガータイプ)。煙突掃除が楽な事と燃費が良いようにと、天井を抜き屋根迄なるべく直線的に煙突工事をして欲しいと言う事で、いつも我が家のリフォーム等をお願いしている大工さんに紹介して頂いたのが「ストーブハウス」さん。信頼している棟梁の紹介は間違いありませんでした。

スイッチひとつで暖がとれるのは確かに便利ではありますが、薪ストーブにするんだつたら、薪は可能な限り自分で準備したい! というのが私の信念です。薪を自分で用意出来なくなったら楽しみも薪ストーブを焚く意味も半減するのかな〜位に思っています。

2シーズン目に入ったデンマーク製のストーブ。コンパクトですが、快適に我が家の暖房器具として代替わりをしてくれました。性能抜群、管理も楽で大変お利口さんです。もっと早くこの機種にしていれば良かったと思うこの頃です。余談になりますが、本体側板のレリーフが「リスとオークの葉」これは私達が大好きなモチーフでスタンドグラス作品にも時折登場しています。嬉しい〜!!

We Love Stove

大食漢とお利口さん

written by 八田高聡 さん・ゆり子さん



スタンドグラス作家の第一人者である八田様ご夫妻はいつも笑顔が絶えません。ストーブレリーフのリスさんも何だか嬉しそうで…、今にもストーブから飛び出してきそうですね!! (中野)

STOVE HOUSE 福袋 ネットバシ

12月23日 朝10時より販売スタート

Xmasプレゼントにもフライング福袋を♪

中身の定価総額は2倍以上!

数量限定! なくなり次第終了です

— 気になる福袋の中身を1袋ずつご紹介 —

ZAKKA THANK YOU BAG ¥3,900

1. 2個入りガラス製マグカップ
2. 洗剤入り洗濯ボール
3. 洗剤入り洗濯ボール
4. 手拭きタオル
5. 洗剤入り洗濯ボール
6. THANK YOU BAG

THANK YOU BAG
1. ハンドルジャー ¥1,188 × 2
2. 発泡入浴剤 ¥108
3. パスソルト ¥195
4. シャボンホー ル綿 ¥810
5. ローズマゲネット ¥206
6. フレグランスブーケ ¥4,104

FASHION HAPPY BAG ¥8,100

1. 帽子
2. 帽子
3. 帽子
4. 下着
5. ヲンブ
6. パンツ

ZAKKA HAPPY BAG
1. フォルクロック ¥3,024
2. ジュートクッションカバー ¥1,944 × 2
3. ミニマスコット ¥324 × 2
4. ワイヤーランタンペン ¥843
5. スニーフレームカードセット ¥378
6. ロールオンバフェーム ¥1,944
7. ステプラミニ(シロクマ) ¥897
8. カラーフィル ¥162 × 2
9. MILANスヘアレイザー ¥152
10. アンティークシスターワイドシェルフ ¥4,104

※衣類につきましては女性用のMサイズを中心にしております。サイズの交換や返品は致しかねますので、ご理解の上、お買い求めください。

ZAKKA HAPPY BAG ¥8,100

1. 時計
2. タオル
3. 小物
4. 小物
5. 小物
6. 小物
7. 小物
8. 小物
9. 小物
10. 小物

※すべて税込み価格です。紹介した中身は1袋をPick Upしたものであり、すべての福袋に同一商品が入る訳ではございません。また福袋は原村店での取り扱いであり、メンバーズカードポイント捺印対象外、返品は不可となりますので予めご了承ください。

ランライター 休刊に際して

1999年にランライター第一号を発刊し、これまでにストーブユーザーさんの実体験やストーブクッキング、ちょっとした豆知識など薪ストーブに関連する記事を時には専門的な文章を織り交ぜながらオーナーズの皆様に発信し、また薪ストーブというジャンルを飛び越えて地元ショップの紹介や連載記事なども掲載し、本ランライターに至りました。ストーブハウスでは今冬の72号をランライター発行の節目として一旦、休刊とさせていただきます。来年からは紙面での情報発信はDMハガキに移行し、ホームページ(来年春にリニューアル予定)とSNSであるフェイスブックの活用を主軸とし、セールやイベントなどの情報案内や共有などをリアルタイムに発信し、これからもオーナーの皆様と共に薪ストーブのあるライフスタイルをご提案していきたいと思っております。現在の当社ホームページのTOPページ(<http://www.stove-house.co.jp>)右サイドにフェイスブックページへのリンクバナーがありますので、是非のぞいてみてください。

最後になりましたが、本年中のご愛顧、誠にありがとうございました。来年もストーブハウスをどうぞ宜しくお願いします。そして来年もまた、薪ストーブと共に歩む人生が幸多きものとなることをお祈りいたします。

ストーブハウス代表取締役 中野 耕平